

# 新基地建設反対名護共同センターニュース

手を繋ごう平和への一步!!

「国際障がい者週間」企画

## 12.7 障がい者辺野古のつどい

戦争のための新基地建設阻止を!!



イラストと描き文字は千葉県言語聴覚士・徳本光香さんの作品です。レイアウトは新基地建設反対名護共同センターの協力です。

- 戦争が起こると一番先にやっかい者あつかにされるのは障がい者です。平和を一番望んでいるのは私たちです。
- 戦争基地のために辺野古の青い海を死の海にしないで!!
- 12月3日～9日は、国連が定めた「国際障がい者週間」です。障がい者の皆さん、沖縄へ、辺野古へ集まりましょう。
- 現地に来れない方は、メッセージをお寄せください。(宛先・田丸正幸⇒右欄参照)

日時 2017年12月7日(木) 11時～13時  
場所 名護市辺野古キャンプ・シュワブゲート前テント村  
内容/リレートーク、文化行事 その他  
※終了後、道の駅「わんさかパーク」に移動し交流会を行います。  
主催 12・7障がい者 辺野古のつどい実行委員会  
共同代表/伊波義安(元高校教師)、門屋和子(信州沖縄塾)、渡嘉敷綾秀(県視障者の会事務局長)、斉木登茂子(カトリック東京正義と平和委員会)、成田正雄(名護市・海と風の宿)―11月16日現在(50音順)―  
事務局長/田丸正幸 〒905-1204 東村平良 426-1 ☎080-6498-0414  
Eメール mt0414\_mt@ezweb.ne.jp

## 翁長知事、稲嶺市長を「オール沖縄」の団結で支えよう 辺野古訴訟第2回口頭弁論で激励集会

辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議は14日、辺野古新基地建設の工事差し止め訴訟の第2回口頭弁論の公判の前に裁判所前で支援集会を開催しました。

主催者を代表してオール沖縄会議・親川盛一共同代表(元知事公室長)が「県民の団結したたかいで新基地建設を阻止しよう」とあいさつ。照屋寛徳衆院議員、糸数慶子、伊波洋一両参院議員、自由党代表、ヘリ基地反対協代表などが連帯挨拶しました。

### たたかえば変化が生まれる

日本共産党渡久地県議

日本共産党を代表して渡久地修県議(右写真)は、「自民党が10月県議会で高江の6つのヘリパッドの使用中止の決議に賛成せざるを得なかった。県民が団結してたたかえば必ず勝利できる。現場のたたかい、裁判闘争、選挙戦をたたかいぬき、知事と稲嶺名護市長を「オール沖縄」に団結して支えて頑張りましょう、と訴えました。



激励集会では各発言者が総選挙での「オール沖縄」が勝利したことへの確信と、引き続き「勝つ方法、あきらめないこと」と語りました。そして、陸と海からの現場のたたかいを強化するとともに、当面の名護市長選を勝利し来秋の知事選・那覇市長選勝利へとつなげ、必ず辺野古新基地建設を阻止する決意が表明されました。